

2025 年 7 月 22 日

山陽小野田市議会
議 長 高松 秀樹 様

小野田 3929 C-202
樋口晋也

日本共産党山陽小野田市議会議員団による善良なる市民に対する名誉毀損事件についての
陳情書

本年 7 月 14 日に日本共産党の中島議員、山田議員から議長宛に提出されました文書について、7 月 18 日の議会運営委員会において議長から諮問を受け審査が行われました。
その審査の過程において、私の個人名が明らかになり全世界に発信されました。
(別紙添付)

質問 3 件の前文には、様々な虚偽の記述や想像だけで記述された文言があり、私個人の名誉を著しく毀損するものです。

これまでも「暗いまち」、もとい「明るいまち」で様々な誹謗中傷を受けておりましたが、これは国民から見放された落ち目の共産党議員による記事ですので黙殺してきましたが、今回は議会に対してこのようなデマを出してきました。

この虚偽による名誉毀損の文書は全世界に発信され永遠に残るものです。そしてその中には日本共産党が選挙のたびに違法行為を繰り返していることを自白している証拠となるものも含まれており看過することはできません。

個人の名誉回復のため共産党議員団による捏造記事の責任の所在を明らかにし、その上で適切な対処をいただきますよう陳情いたします。

以上



2025年7月14日

山陽小野田市議会

議長 高松秀樹 様

山陽小野田市日本共産党市議会議員団

団長 中島好人

議員 山田伸幸

「山口県 山陽小野田市議会」名で発信される

個人アカウントの YouTube チャンネルについて



市政発展と議会活動に、努力・邁進されていることに敬意を表します。

さて、

ある政治団体代表者である[]氏による、特定議員への「公選法違反」を口実にした追及行動が今春以降様々なメディアを通じて発信され始めました。特定議員の顔写真入りのビラがその議員の自宅周辺に配布され、FBやYoutubeを利用して執拗に取り上げられ、6月議会中に議会出席の議員を動画カメラで追いかけて、その動画がYoutubeにアップされる事態にまでなりました。

本来、刑事罰が相当の「公職選挙法違反」ならば市民として刑事告発が筋であるのに、[]氏は公選法を勝手に解釈し、既に「時効」だから自らが「議員への責任を追及する」として、その追及行動の一部始終をYoutubeにアップして市民に知らせ、市民の前に明らかにするといいます。公選法の解釈や判断など一般市民にできるわけもないのに、その市民に何を明らかにするというのでしょうか。結局は[]氏個人による議員やその家族への「いじめ」にも等しい不法行為といわざるをえません。

地域へのあいさつ回りは、単なる「瀬踏み行為」として選挙前の立候補にあたって誰でも行っている行為であり、公選法でも認められています。それを「公選法違反」行為として鬼の首でも取ったように追及行動を行うなど異常としかいえません。これを違反事件として追及されるならば、誰も立候補などできるはずがありません。

問題は[]氏が発信するこのYoutubeのアカウント名が「山口県 山陽小野田市議会」として全世界に公開されていることです。これではまるで山陽小野田市議会が特定議員に対して「公選法」違反を問題にし、責任を追及しているように全世界に発信され、全世界の人々からそのように受け取られ兼ねません。[]氏は、市議会は「Youtubeの公式アカウント」を持っていないし、[]氏に対して市議会から何の抗議もないから、このアカウント名は自由に使えるのだと強弁しています。

もしこのような事態を放置するならば、山陽小野田市議会の信頼は地に落ち、市議会の名前を大きく傷つけるだけでなく、そのことによって多くの市民が傷つくことにならないでしょうか。もしこのまま市議会が何もしなければ逆に市議会が世界から笑われる存在になってしまいます。

記

- 1、「山口県山陽小野田市議会」名のYoutubeチャンネルがあることをご存じでしたか。
- 2、当該チャンネルについて、何らかの抗議、閉鎖の要求をされる考えはありませんか。
- 3、Youtube管理人に対して、[]氏の「山口県山陽小野田市議会」名の個人Youtubeアカウントの削除を求める考えはありませんか。

以上



右翼的政治団体代表 樋口晋也氏の**執拗な**

前田議員への
追及行動

「公選法違反」を口実に！

今年4月以降、右翼的政治団体代表の樋口氏がFBやピラ、Youtubeなどで前田議員への執拗な個人攻撃を繰り返し行い、前田議員の家族までもが「恐怖」を感じるような異常な追及行動が行われました。なぜこんなことに……。

前田議員攻撃ピラ(樋口氏のFBより)

「公選法違反」というのなら なぜ刑事告発しない？

樋口氏への謝罪で
なぜ一件落着く？

樋口氏は4年前の市議選にあたって前田議員が地域で行ったあいさつ回りの会話が録音されていて、それが公職選挙法違反の「証拠」だとして前田議員への追及行動を始めたのです。追及行動は常軌を逸し、FB

だけでなく「政経ジャーナル」を前田議員の自宅周辺に配布し、市役所内にカメラを持ち込んで議会に出席する前田議員に「回答を迫る」動画をYoutubeにアップし「2弾3弾と追及する」

これは
違法行為だ！

樋口氏のYoutubeのアカウント名
「山陽小野田市議会」を詐称！

驚いたことに樋口氏のYoutubeのアカウント名は「山口県山陽小野田市議会」とされています(下の写真)。

何の冗談？樋口氏はこれまでもこのアカウントを使って共産党の山田議員だけでなく白井議員や前田議員などへの公然とした非難・攻撃を「山陽小野田市議会」名で繰り返していた事になります。これではまるで山陽小野田市議会が公然

庁舎管理規定
市の対応は？

市庁舎内での撮影行為は「庁舎管理規定」で規制されますが、市は許可を出したのでしょうか

と一部議員をやり玉に挙げて攻撃していると思われる行為であり、まさに山陽小野田市議会を詐称する重大な違法行為と言わねばなりません。このアカウントを使って一部議員を公然と攻撃するやり方は「名誉棄損」にも該当する行為です。このような人物の市庁舎内での撮影許可を市当局が出していたとしたら、その責任も問われます。

それにしても、高松議長が
なぜ樋口氏の仲介役じゃ？

前田議員は所属会派の議員から樋口氏に謝罪するよう説得され、会派控室での樋口氏への謝罪を高松議長が段取りをしたといわれています。高松議長は樋口氏の市庁舎内での撮影行為に関して「市の許可は取っている」と言います。動画のアップ先のYoutubeが「市議会」名のアカウントだった事を知らないのでしょうか。

この4年間に
なぜか創政会以外の議員が
謝罪に追い込まれている！

この4年間だけでも樋口氏が様々な理由で市議員を謝罪に追い込む事例が後を絶ちません。それもほとんどが創政会以外の議員たちです。その結果、多くの議員が議会での発言を委縮させる結果になっている事は重大です。



樋口氏のYoutubeのアカウント

